

平成 30 年 11 月 27 日

田辺市長 真 砂 充 敏 様

田辺市新庁舎基本設計・実施設計業務委託
プロポーザル方式受託事業者選定委員会
委員長 嘉 名 光 市

田辺市新庁舎基本設計・実施設計業務 指名型プロポーザルの選定結果について

田辺市新庁舎基本設計・実施設計業務指名型プロポーザルにつきましては、13 者を指名し、5 者から提案をいただきました。5 者の皆様においては、説明会への出席をはじめ、平成 30 年 8 月に策定した田辺市新庁舎整備基本計画をよく理解いただいた上で、各者それぞれ特徴のある、すばらしい提案をいただき、田辺市新庁舎基本設計・実施設計業務委託プロポーザル方式受託事業者選定委員会（以下「委員会」という。）としましても、甲乙付けがたく、多くの議論がなされました。

以下に、その選定経過を報告します。

記

1. 選定結果

第 1 受託候補者 株式会社 石本建築事務所 大阪オフィス 91.4 点
第 2 受託候補者 株式会社 東畑建築事務所 大阪事務所 89.9 点

2. 講評

第 1 受託候補者である、株式会社石本建築事務所 大阪オフィスの技術提案については、建物形状は、オーソドックスな長方形で合理的であり、使いやすい平面計画となっている。

また、既存躯体を残した上で、柱頭免震を採用し、1 階に駐車場を配置し、敷地特性を活かすとともに、コストダウンも可能にしている。防災面においても、1 階駐車場や北側及び東側広場の活用など、具体的な提案がある。

北側と南側の高低差を「田辺交流モール」でスムーズにつなぎ、気軽に訪れることができるよう、回遊性を高めていること、さらに、田辺市の魅力を発信する景観づくりとして、勾配屋根と、軒による陰影のある意匠を踏襲し、良好な景観形成に配慮している。

以上より、機能的な計画、形態、景観配慮など、田辺市についての理解及び提案力を高く評価し、第 1 受託候補者と決定した。

3. 審査結果

【第1受託候補者：株式会社 石本建築事務所 大阪オフィス】

[技術提案書の評価の高い点]

- 建物形状は、長方形の合理的な形態を追求し、安心感がある。
- ロングスパンにより柱も少なく、将来の変更にも対応しやすい構造で、長期使用が可能である
- 作業しやすい執務スペースになりそうである。
- 基本計画書の5つの基本方針、特に防災面がよく押えられている。
- 1階駐車場、東側駐車場も災害時の活用について考えられている。
- 防災まちづくり課、オペレーションルーム、市長室を4階の同フロアに確保し、災害時の連携が図りやすい。
- 設備系BCPの確保について考えられている。
- 既存躯体を利用した計画で、コスト縮減が可能である。
- 1階を駐車場にすることにより、柱頭免震を採用し、コスト縮減を可能としている。
- 「たなべ交流モール」により、まちをつなぎ、回遊性を創出している。
- 維持管理面で後々対応しやすい。
- 勾配屋根、軒による田辺らしい伝統的な意匠が考えられている。

[技術提案書の疑問点等]

- 駐車場が分散することによる運営上の課題
- 「田辺交流モール」がうまく機能する仕掛けが必要

【第2受託候補者：株式会社 東畑建築事務所 大阪事務所】

[技術提案書の評価の高い点]

- 西側に庁舎を寄せ、東側に広い駐車場を確保し、災害時も有効に活用できる計画である。
- 新たな地盤面をつくることにより、外部で南北をうまくつないでおり、回遊性もあり、セキュリティも確保できている。
- 西側道路の形状に合わせた扇型の平面とすることにより、特徴的な外観を生み出している。
- 各階面積を広くとることにより、市民の利便性の向上を図るとともに、建物の高さを抑えている。
- 既存躯体を大幅に活用することにより、コスト縮減、工期短縮を可能としている。

[技術提案書の疑問点等]

- 曲線の大きな外壁面が、田辺市の景観にふさわしいかどうか意見が分かれた。
- 2.5mの^{ひきし}庇のみで、西日対策が可能かどうか。
- 新たな地盤面をつくることによる、道路沿いの法面発生、長いスロープの設置、新たな掘削が必要になることなどの課題がある。

【株式会社 久米設計 大阪支社】

〔技術提案書の評価の高い点〕

- コンパクトな形でうまく収め、多くの広場等の市民スペースを生み出している。
- 既存建物の空間を有効に再利用し、コストダウンを図っている。
- だんだん広場を設けることにより、南北の広場をつなぐとともに、市街地へもつなげている。

〔技術提案書の疑問点等〕

- 災害デッキと、そこに至る大きな階段の活用が課題
- 分散した広場等の利活用が課題

【株式会社 松田平田設計 大阪事務所】

〔技術提案書の評価の高い点〕

- 田辺市産の杉製材による木造庁舎は、田辺市にふさわしく、建築的にも魅力がある。
- 9mの高低差を、うまく2層で利用している。

〔技術提案書の疑問点等〕

- 木部（特に外部）の、定期的な維持管理に伴うコストが課題
- 新庁舎は、長期利用を目指しているが、構造部材の木部が製材であることから、その点検及び腐朽等への対応が課題

【株式会社 安井建築設計事務所】

〔技術提案書の評価の高い点〕

- 三角形という斬新なプランで、特徴的な外観となっている。
- 三角形に配置することにより、イベント時には北西部が広場となり、1階の「あがらプラザ」と一体となった魅力的な空間を創出している。

〔技術提案書の疑問点等〕

- 9mの高さを1層で、中間層免震とする計画としており、全体コストが課題
- 「あがらプラザ」がうまく機能する仕掛けが必要
- 東京事務所に担当であり、密な打合せが十分できるかどうか。

4. 選定方法

(1) 選定概要

指名型プロポーザル方式を採用し、審査は、第1次審査及び第2次審査の2段階方式で行った。

受託候補者の特定に当たっては、学識経験者、一般、市職員で構成する委員会を設置し、その審査により、評価点数100点を満点とする採点結果により、受託候補者を特定した。

審査については、公正かつ厳正なものとするため、第1次審査及び第2次審査とも、提案者名を匿名として行った。

(2) 審査委員

(○印は、かかわった審査)

			第1次審査	第2次審査
委員長	嘉名 光市	大阪市立大学大学院 教授	○	○
委員	本多 友常	和歌山大学 名誉教授	○	○
委員	牧 紀男	京都大学 防災研究所 教授	○	○
委員	野村 悠一郎	田辺市自治会連絡協議会 会長		○
委員	藤本 薫	田辺商工会議所 専務理事		○
委員	中西 達彦	田辺市 建設部総括専門官	○	○
委員	栗山 卓也	田辺市 建設部長	○	○
委員	松川 靖弘	田辺市 総務部長		○
			5名	8名

(3) 経過

	日 時	内 容
説明会	平成30年10月5日(金)	指名業者向け説明会を実施(10者参加) プロポーザル実施要領、基本計画書の説明
提案書の提出	平成30年10月31日(水)	提案書の締切り(5者提出)
第1次審査	平成30年11月7日(木)	5名の審査員により技術的な観点から書類審査を実施(全5者合格)
第2次審査	平成30年11月26日(月)	公開プレゼンテーション、ヒアリングを実施 提案者説明15分、ヒアリング15分(5者)
	平成30年11月27日(火)	8名の審査委員による審査会を開催 第1受託候補者、第2受託候補者の特定